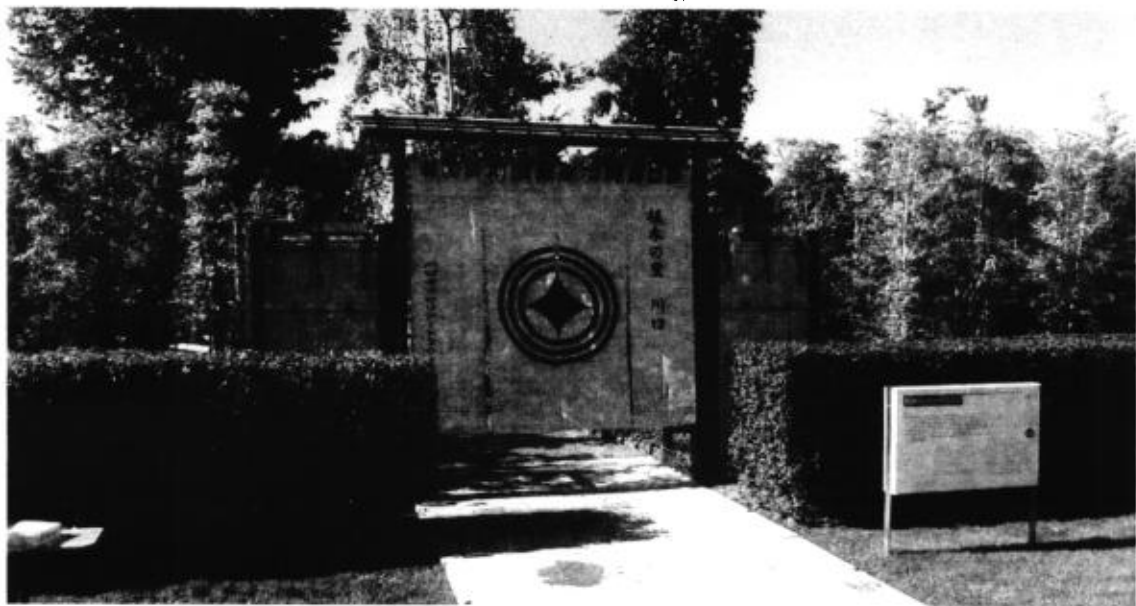


川口市議会  
フロリアード2012視察団  
視察報告書

視察期間 平成24年7月25日(水)～8月3日(金)



川口市議会

板橋智之議長 宇田川好秀議員

野口宏明議員 立石泰広議員

大関修克議員 関口京子議員

最上則彦議員

# 目 次

はじめに	1
視察団概要	3
事前研修	6
現地視察内容	17
ユバスキュラ市 エドゥ・クラスター社訪問	18
ボルナ市 メガソーラーパーク視察	25
アムステルダム市 ウォーターネット社訪問	29
フェンロー市 フロリアード2012視察	32
おわりに	36
視察資料編	
エドゥ・クラスター社	40
メガソーラーパーク	47
ウォーターネット社	56
フロリアード2012	57

## 【はじめに】

今回の視察の主なるテーマである「フロリアード2012」は、正式名を「2012年フェンロー国際園芸博覧会」と称し、オランダ園芸協議会等が実施主体となり、10年に1度開催される大国際園芸博覧会であります。今回は、アムステルダムから南東に185km、ドイツとの国境に位置するフェンローにおいて、本年4月5日から10月7日までの約6ヶ月にわたり、テーマを「自然という劇場の一部となって、生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）を高めよう」とし開催されたもので、本市からは、市とフロリアード2012出展実行委員会の共催により、川口の花き・植木のPRを目的に参加いたしました。

また、本市議会としても、過去、昭和57年度、平成4年度及び平成14年度の3回、国際園芸博覧会を視察いたしました経緯があります。今回においても本市とフロリアード2012出展実行委員会の連名で市議会議長あて強い視察の要請があったことから、本市議会として「この出展事業に対する認識を深め、今後の植木をはじめとする本市の緑化産業の振興の支援に資するとともに、併せて近隣訪問国の地方自治制度及び各都市の先進的な事業の調査を行うことに

より、本市市政の発展に寄与すること」を目的とし、視察団を編成することとなりました。

この視察団の、名称を「川口市議会フロリアード2012視察団」、参加者については、団長に板橋智之議長、副団長に大関修克議員が互選され、宇田川好秀議員、野口宏明議員、立石泰広議員、関口京子議員、最上則彦議員の7名の視察団とし、議場での報告者には野口議員が互選されました。

また、目的を達成するための視察都市及び調査事項については、

- ①「フィンランド・ユバスキュラ市におけるフィンランド教育制度の調査」、②「ドイツ・ボルナ市における環境推進事業の調査」、③「オランダ・アムステルダム市における治水事業の調査」、④「オランダ・フェンロー市における国際園芸博覧会（フロリアード2012）の視察」として視察を実施することとしました。

## 【視察団概要】

# 川口市議会フロリアード2012視察団

## 1 目的

本市では、花き・植木産業が盛んであり、約390年続く歴史と伝統技術に支えられ、減少傾向にあるものの今なお多くの農業者が日々生産に励むとともに、後継者の育成、技術の継承に取り組んでいる。これらの取り組みの一大事業というべきものが、国際園芸博覧会・フロリアードへの出展であり、本市議会としても、この出展事業に対する認識を深め、今後の植木をはじめとする本市の緑化産業の振興の支援に資するとともに、近隣訪問国の地方自治制度及び各都市の先進的な事業の調査を行うことにより、本市市政の発展に寄与することを目的とする。

## 2 視察都市及び調査事項

### (1) ユバスキュラ市

フィンランド教育制度の調査(エドゥ・クラスター社訪問)

### (2) ボルナ市

ドイツ環境推進事業の調査(メガソーラーパーク視察)

### (3) アムステルダム市

オランダ治水事業の調査(ウォーターネット社訪問)

#### (4) フェンロー市

国際園芸博覧会フロリアード2012視察

### 3 視察の日程及び経路

別 紙

### 4 視察議員

板橋智之議長、宇田川好秀議員、野口宏明議員、立石泰広議員  
大関修克議員、関口京子議員、最上則彦議員

### 5 その他

視察団の構成

団 長 板 橋 智 之

副団長 大 関 修 克

報告者 野 口 宏 明

団 員 宇田川 好 秀

立 石 泰 広

関 口 京 子

最 上 則 彦

随行者 押 田 善 司 (議会事務局長)

## 視察の日程及び経路

	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	行程	備考
1	7月25日 (水)	東京(成田)発 ヘルシンキ着	8:00 11:00 15:15	A Y 74 専用車	成田空港第2旅客ターミナル集合 空路、ヘルシンキへ 所要時間:10時間15分 着後ホテルへ 〈ヘルシンキ泊〉	
2	7月26日 (木)	ヘルシンキ ユバスキュラ	9:06	列車 専用車	ユバスキュラへ 所要時間:約3時間 ユバスキュラ市内視察 〈ユバスキュラ泊〉	
3	7月27日 (金)	ユバスキュラ	終日		<b>エドゥ・クラスター社訪問</b> 〈ユバスキュラ泊〉	
4	7月28日 (土)	ユバスキュラ ヘルシンキ発 ベルリン着	7:19 17:00 17:55	列車 A Y 917	ヘルシンキへ 所要時間約3時間 空路、ベルリンへ 所要時間:1時間55分 〈ベルリン泊〉	
5	7月29日 (日)	ベルリン ライブツィヒ	午前 時刻	専用車	ベルリン市内視察 ライブツィヒへ (所要時間 約3時間) 〈ライブツィヒ泊〉	
6	7月30日 (月)	ライブツィヒ ボルナ ベルリン	午前	専用車	ボルナへ 所要時間:45分) <b>メガソーラーパーク視察</b> ベルリンへ (所要時間 約3時間) 〈ベルリン泊〉	
7	7月31日 (火)	ベルリン発 アムステルダム着 アムステルダム フェンロー	9:15 10:35 午後	KL1822 専用車 専用車	空路、アムステルダムへ 所要時間:1時間20分 <b>ウォーターネット社訪問</b> 視察後、フェンローへ (所要時間 約2時間) 〈フェンロー泊〉	
8	8月1日 (水)	フェンロー アムステルダム	終日	専用車	<b>フロリアート視察</b> 〈アムステルダム泊〉	
9	8月2日 (木)	アムステルダム発 ヘルシンキ着 ヘルシンキ発	11:50 15:15 17:15	専用車 A Y 842 A Y 073	空港へ 空路、ヘルシンキへ 所要時間:3時間20分 乗継、帰国の途へ 所要時間:9時間40分 〈機中泊〉	
10	8月3日 (金)	東京(成田)着	8:55			

## 【事前研修】

当視察に関する打合せ会を、第1回を平成24年6月28日に、第2回を7月13日に、それぞれ開催いたしました。

そして、第2回の打合せ会では、今回の各視察事業のテーマを明確にするとともに、事業の詳細や本市における現状等を把握し、視察を実りあるものにするため、関係執行部等による各事業の説明を実施いたしました。「フィンランド教育制度」については菅原教育研究所副所長、坂井指導主事、林指導主事に、「ドイツ環境推進事業」については阿部環境総務課長、板倉計画係長、高橋地球高温化対策係長に、「2012年フェンロー国際園芸博覧会」については五島農政課長、椎橋農業青年会議所理事長にそれぞれ説明をお願いいたしました。

これらの事業の説明にあたっては、本市議会からの要請にたいして、本市行政の進展に資すればと、快く応じていただきました関係執行部局等の皆様に、心から感謝申し上げる次第でございます。



## 《「フィンランド教育制度」について 研修概要》

フィンランドでは、様々な教育事業における取組みの結果、経済協力開発機構（OECD）が実施しているPISA調査（学力の到達達成度調査）で全ての分野で高評価を得ています。そのフィンランドからの申し出により、日本とフィンランドの教育における『指導方法』について「日本・フィンランド学校プロジェクト」として研究を行なっていくことになりました。

そこで、教育委員会では、平成21年度から2年間、2度にわたりフィンランドを訪問し、多くの授業見学や研究者とのディスカッションを行いました。また、フィンランドとメール等により意見交換等を行い、日本の授業に取り入れていくべき『学力向上のための10の方法』としてまとめました。

フィンランドでは、6歳児に対して就学前教育が行われ、その後、日本と同様に9年間の義務教育が行われます。

1週間当たりの授業時数は20～30時間で日本とほぼ同じですが、フィンランドの方が夏休みは長いため、年間授業時数は日本より少なくなっています。

中学校卒業後は、高等学校または職業訓練校に進学し、高等学校

に進学した生徒のうち約40パーセントが大学に進学し、残りの生徒は高等専門学校や職業訓練校に進学、または就職をします。なお、フィンランドでは、就学前から大学院までの教育は全て無償で行われ、1クラスの児童生徒数は平均20名で編成されています。

フィンランドにおける授業の特徴は、論理的思考力や表現力を高めるため、以下のような教育が行われています。

第一に、理解したことを自分の言葉で説明をするアウトプット型の学習方法が行われており、教員から出された課題に対して、実験等を行い、実験から分かったことを日常生活の事象に照らし合わせ、自分で考え、自分の言葉で表現することが求められています。

第二に、フィンランドメソッドと呼ばれる言語活動を積み重ねる学習方法が行われており、決められたテーマについて話し合ったり、ポスター、図表等で説明したりするなどの活動を繰り返すことで、コミュニケーション能力の向上を図っています。

第三に、授業の中で生活に密着した課題や教科横断型の課題を体験させることで、問題解決能力の向上を図っています。

第四に、家庭学習の習慣の定着が図られており、宿題として家庭学習を行い、授業も宿題の確認から行われ、保護者も宿題が毎日出

されることは理解しており、学校と家庭が連携して、基礎的な学力や学習習慣の定着を図っています。

第五に、生徒全員に学力の保障をするための学習支援制度が充実しており、十分に学習が理解できない児童生徒のために、時間割のなかに補習が設定されており、また、特別支援クラスで授業を受けることが可能となっています。さらに、当該学年で身に着けるべき学力が身につけていないと判断される児童生徒は、もう一度同じ学年の授業を行う留年制度が確立しています。

以上のようなフィンランド教育における授業の工夫から、日本でも取り入れていくと効果的な指導法について、「日本・フィンランド学校プロジェクトが提案する『学力向上の10の方法』」として、指導課刊行「指導の方向」に掲載し、市内の全教職員に配布しており、積極的に取り組んでいるとのことでありました。

(説明者：菅原教育研究所副所長、坂井指導主事、林指導主事)

## 《「ドイツ環境推進事業」について 研修概要》

再生可能エネルギーとは、「エネルギー源として永続的に利用することができる」と認められるもの」として、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱その他の自然界に存する熱、バイオマスが規定されており、繰り返し使えるため資源が枯渇せず、発電時や熱利用時に二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギーです。

ドイツでは、再生可能エネルギーへの積極的な移行に、近年、国際的な注目が集まっており、一方、日本におけるエネルギー供給は、石油や石炭、天然ガス等の化石燃料が8割以上を占めています。

その燃料のほとんどは海外に依存しており、近年では、新興国の経済発展等から世界的にエネルギー需要が増大するとともに、化石燃料の市場価格が乱高下する等、エネルギー市場が不安定化しています。

化石燃料の利用にともなって発生する温室効果ガスを削減するという観点からも、再生可能エネルギーの導入が進められています。

しかし、再生可能エネルギーの導入は、設備に多額の費用がかかること、発電量が日照時間等の自然条件に左右され不安定であること、火力発電等の既存のエネルギーと比較すると発電コストが高く

なること等の課題があります。

その課題の克服のために、日本における住宅用等の小規模太陽光発電については、平成15年に施行された「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法（RPS法）」や助成金、補助金等により普及が進められています。また、平成21年9月には、家庭や事業所等において太陽光で発電された電気の余剰電力の買取りを電力会社に義務付ける「太陽光発電の余剰電力買取制度」が開始され、コスト削減等の研究開発が進められる等、政府による支援が実施されていますが、平成21年度の年間発電電力のうち、水力発電を除く再生可能エネルギーの占める割合は1パーセントにとどまっています。

平成23年3月11日の東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所の事故により、政府はエネルギー政策の抜本的な見直しを行い、平成24年7月に再生可能エネルギー特別措置法が施行、また、電気事業法の施行規則の改正により大規模太陽光発電施設に求められる保安規制の緩和等が行われ、一方で、再生可能エネルギーの需要の増加と技術革新により発電システムの価格が安くなることが期待されており、発電事業に参加する業者の増加が見込まれて

います。

日本国内における、1か所あたり10,000キロワット以上の発電能力をもつメガソーラー施設は、稼働中のもの、建設中または計画中のものを含め約80か所が存在しています。

環境省が平成18年度にメガワットソーラー共同利用モデル事業として、長野県と高知県の有限責任事業組合による発電所の設置を支援しています。また、独立行政法人「新エネルギー・産業技術総合開発機構」が山梨県北杜市と北海道稚内市で国内最大級のメガソーラーを建設し、実証研究に取り組む等、導入が進められており、さらに自治体と電力会社の共同事業としてのメガソーラーの設置も行われています。

本市においては、メガソーラーの設置には広大な土地が必要になることから、設置計画はなされていないものの、地球高温化対策活動支援金制度により、住宅用の太陽光発電及び太陽熱利用システムの設置に対する補助を行なっています。今後においても、太陽光発電等の再生可能エネルギー活用の普及促進に努め、環境行政の推進に向け取り組んで参りたいとのことであります。

(説明者：阿部環境総務課長、板倉計画係長、高橋地球高温化対策係長)

## 《「2012年フェンロー国際園芸博覧会」について 研修概要》

フロリアードとは、チューリップ等の花き産業で知られるオランダ王国最大のイベントであり、1960年にロッテルダムで開催されて以来、10年に1度オランダで開催される国際園芸博覧会の通称です。

第6回のフロリアード2012は、オランダ東部にありドイツとの国境のまちフェンローで、2012年4月5日から10月7日までの約6カ月間にわたり、オランダ国内からの展示のほか、日本を含む世界各地から42カ国が参加し開催されています。

会場は総面積66ヘクタールであり、大きく分けて5つのエリアに分けて開催され、90社によるパビリオンとガーデン内での展示がされています。

第1のエリアは、「リラックス&癒し」をテーマとし、自然が生活や安らぎにどのような影響を与えているかを感じられるものとし、海外の企業の作った日本庭園等が展示されているエリアです。

第2のエリアは、「グリーンエンジン」をテーマとし、経済産業としての園芸を目的に、身の周りにある花と植物を使ったフラワーアレンジメントやデモンストレーション等を通して鑑賞でき、日本政

府の出展もこのエリアで展示されています。

第3のエリアは、「教育&イノベーション」をテーマとして、学び続け、工夫し続けることの大切さを体験でき、また、植木栽培の将来を考える、変わった野菜や植物を栽培したり、新しいアイデアをさまざまな角度から紹介したりしているエリアです。

第4のエリアは、「環境」をテーマとし、身近にある花、植物、野菜、果物が日々の生活にどのように役立つかを体験できるよう、屋内や都市に植物を取り入れることの重要性が示されており、その中の「ガーデン・カルチャーの並木道」は、日本、オランダ、ベルギー等のガーデンデザイナーによる庭園で、オランダや参加国のガーデン・カルチャーを紹介するとともに、職場や自宅の環境改善やリラックスの方法を提示しているエリアです。

第5のエリアは、「ワールド・ショー・ステージ」であり、アート、カルチャー、エンターテインメントを通じて、世界の文化を学べるエリアであり、8月1日に開催されるジャパンデーの式典等もこのエリアで行われます。

今回本市の出展は、川口市農業青年会議所が中心となって設立した実行員会が、造園技術、植木生産・育成の技術を発揮した屋外庭



園を出展し、また、屋内品種コンテストにも、ゴヨウマツ、チャボヒバ、テイカカズラ、ヤマボウシの4点を出品しています。

川口・安行の植木が日本を代表してフロリアード2012へ出展することは、出展を通じて川口・安行の植木のPRを行い、花き・植木産業の振興を図ることを目的にしております。

今後も、より一層の花き・植木産業の振興、対外的なPRを図って参りたいとのことであります。

(説明者：五島農政課長、椎橋農業青年会議所理事長)

#### 事前研修会の様子





## 【現地視察内容】

### 《1日目 7月25日（水）》

成田空港からフィンランド航空で午前11時に出発し、空路約10時間を要して、一路ヘルシンキへ、現地時間午後3時過ぎ、日本時間で午後9時に到着。

日本時間との時差は6時間、長時間のフライトに加え、午後10時過ぎまで明るく、夜という実感が伴わないことも相まって、体が慣れず、若干、戸惑いを感じた次第であります。

（ヘルシンキ泊）

### 《2日目 7月26日（木）》

ホテルを午前8時15分に出発、列車にて、一面の森と湖の中を約3時間半の時間を要し、フィンランドの中南部に位置する人口約13万人の学園都市ユバスキュラ市に到着。

午後から、20世紀を代表する世界的な建築家であり、デザイナーでもあるアルヴァ・アアルトによる建築物「セイナツァロの役場」、「ユバスキュラ大学」等を視察。ユバスキュラには、彼の代表的な建築物であり1949年に行われた設計コンペで一等賞であっ

た「セイナツツァロの役場」が郊外にあり、またユバスキュラ教育大学や労働者会館、タウン・シアター等も彼の設計によるものであるとのことであります。

(ユバスキュラ泊)

### 《3日目 7月27日(金)》

午前8時30分にホテルを出発し、徒歩で、エドゥ・クラスター社を訪問。「フィンランド教育制度」について、ユバスキュラ大学の教員養成機関であり、教育研究機関でもある当社のマネージャーのヴオリ氏から説明を受けました。

エドゥ・クラスター社は、国際交流の観点からフィンランドの教育を国際的に紹介する会社であり、経営は法人ベースの下で、自国の教育環境の改善を求め委託者に対して、解決方法を示す役割を担うとのことであります。

また、オーナーは、ユバスキュラ大学の関係者であるが、民間会社であり、ユバスキュラ大学とのネットワークを最大限活用し、あらゆる教師の資質向上、教育向上を目指す会社であるとのことであります。

フィンランドは、世界的に高い教育水準を誇り、OECDが実施するPISA調査では長年、高い位置の成績を収めています。

同国は高い教育水準の影響から、1980年代以降には、農業と林業中心の経済体制から、携帯電話等のハイテク産業を基幹とする工業先進国へと著しい変化を遂げており、特に、150年前からある老舗企業のノキアやリナックスは世界的に有名であり、ヨーロッパ内でも有数の経済大国となっています。

また、伝統的に、女性が男性と同等の発言権を持つ男女同権思想があり、女性の労働力化が進んでおり、特に法律家・医師は女性が半数を占めている。男女同権思想は、政治面でも影響を及ぼしており、普通選挙法が導入されたときにはヨーロッパ初の女性参政権が認められている。現在でも、国会議員の定数の3分の1以上に当たる76人の女性国会議員がいる等女性の社会進出が進んでいるとのことでもあります。

現在のフィンランド教育制度の原型が出来上がったのは、1960年代に行われた教育改革以降であり、当時は7歳から10歳までの生徒が同じ国民学校で学び、裕福な家庭の生徒のみがミドルスクールに進学し、その中の一部の生徒のみが大学で高度な専門教育を

受けていたとのことであります。

また、それぞれの学校の教員のレベルは一定ではなく、質の高い教育環境を整えるのが難しく、このため、政治、教育関係者が一体となって、教育改革が行われたとのことであります。

現在のフィンランドでは、初級（1～6年次）と中級（7～9年次）に分けられた9年制のベーシック・エデュケーションが義務教育とされ、この9年間で教員と生徒が何をすべきか、将来の目標を定めていく。また、基礎学校に進学する前に、ほとんどの生徒が1年間のプレ・プライマリー・エデュケーションを受けている。これは、保育園卒園後に無料で行われる準備教育であり、基礎学校と同じ時間割りで文字・数字、生活のマナーを遊びを通して学んでいくもので、生徒の入学への不安を解消するのに役立っているとのことであります。

なお、ベーシック・エデュケーション終了後は、職業専門学校または総合高等学校への進学を選択、また、十分に学習が理解できていない生徒は、補習や留年を選択することができるが、フィンランドにおいて留年は学力の定着に必要な制度として確立しているとのことであります。

さらに、総合高等学校卒業後は、職業専門学校か大学への進学を柔軟に選択できる。なお、これらの教育は国費において行われ、原則は無料であるとのことでもあります。

加えて、フィンランドにおいて、高い教育水準が保たれている要因は複数あるが、特に、生徒に自ら考えさせる教育方針が取られており、その教育方針を実施する教員の質が高いことが挙げられるとのことでもあります。

また、フィンランド教育における成功の鍵は、六つとされており、第一に、「平等で皆のための教育」。親の収入に左右されず、教育費は生徒一人ひとりに平等に配分する。ちなみに、私立の学校や塾等はないとのこと。

第二に、「教員の高い質と専門化」。教員の質の向上のために種々の制度が設けられており、まず、教員になるためには教育学修士号取得が義務付けられており、教育実習の時間が多く定められる等、教員としての専門的なカリキュラムを履修しているとのこと。

さらに、フィンランドでは教員の社会的な地位が高く、教員を志望するものが多く、競争率が高くなっており、普通科高校生の約25パーセントの生徒が教員を志望しているが、教育系の大学に進学

できるのは、大学入学資格試験と大学が個別に行う書類選考、筆記試験、個人面接、グループワークと1ヶ月にも及ぶ選考を通過した1割程度の志願者のみであり、さらに、採用される者はそれ以上に絞られることになる。このため、フィンランドでは、他の職と比べても高い能力と意欲をもつ教師を確保することができているとのこと。

第三に、「一人ひとりの個性のあり方を見ていく指導」。

第四に、「ユニークなカウンセリングのコーナーがあり、前もってカウンセリングを行い、問題の早期発見や適性を見極めをしていく体制」。概ね、8年生、9年生で将来の進路を定めているとのこと。

第五に、「評価システムの違い」。偏差値等による学校のランキングはなく、生徒が自由に学ぶことができているかを学校自身が評価し、学校側と生徒、保護者が話し合いを持って、その結果を学校の改善のためにフィードバックしているとのこと。

第六に、「柔軟さと信頼性」が重要なポイントとのこと、生徒の自分から学びたいという気持ちを育むのも教員の仕事であり、また、保護者は学校を信頼し、子どもに対しても信頼を持っているとのこととあります。

また、授業では、細かいカリキュラムは定められておらず、教材



の選択や授業内容の決定は教員に任せられている一方、グループ学習を取り入れた授業では学習要領の範囲での知識では生徒たちに対応できないので、より広い知識と常に勉強をし続ける意欲も必要であり、勉強に集中できない生徒やついていけない生徒への個人的な指導も行わなければならないので、教師は専門職性が必要となっているとのことであります。

午前9時前から、昼食をはさみ、午後4時30分までのレクチャーを受け、若干の疲れがあったものの充実した内容でありました。特に、教育に向けて、国、自治体、学校、そして保護者が一体となっており、この対応には見るべきものがあったところであります。

(ユバスキュラ泊)

フィンランド ユバスキュラにて





#### 《4日目 7月28日(土)》

午前6時45分にホテルを出発。列車にてヘルシンキへ移動。到着後、市内の歴史的建造物とデザイン性の高い近代建築が共存する様子を視察した後、空路ベルリンへ向かい、午後6時過ぎに到着。

(ベルリン泊)

#### 《5日目 7月29日(日)》

午前中、1850年代に建設された新博物館を視察し、その後、東西分断の象徴、ブランデンブルグ門を視察後、バスにて、アウト

バーンを走り、約3時間を要してライプツィヒへ到着。

ライプツィヒは、ドイツ中央部に位置し、旧東ドイツ地域では、首都ベルリンに次ぐ第2の都市であり、人口は約53万人。ドイツの産業の中心であるとともに、音楽の街、バッハの街として、また、文豪ゲーテが大学時代に過ごした街として有名な都市であります。

(ライプツィヒ泊)

#### 《6日目 7月30日(月)》

午前9時にホテルを出発。ヨーロッパにおけるメガソーラーパークのパイオニアであり、発電施設の開発、運営にノウハウを持つゲオソル社のボルナ発電所を訪問。

雄大な草原にムーバーが等間隔で並び立ち、環境への配慮から除草剤を使わず羊を放牧するといった自然の中、現地にて当社のソーラー部門技術責任者のツェルマー氏から説明を受けました。

ドイツは、人口約8,100万人で、首都はベルリン。ドイツのGDPは約3兆3,000億ドルで、アメリカ合衆国、中華人民共和国、日本に次いで世界第4位の経済大国であり、フランスと並ぶEUの中核国であります。

ドイツにおける主要産業は、自動車、化学、機械、金属、電気製品等である。ドイツは戦前から科学技術に優れており、ガソリン自動車やディーゼルエンジン等ドイツ発祥の技術が数多くある。現在でも高い技術力があり、例えば自動車産業ではメルセデス・ベンツ、ポルシェ、BMW、アウディ、フォルクスワーゲンといったブランドが世界的に有名であります。

近年、ドイツでは、高い技術力を生かした再生可能エネルギー産業が盛んであり、政府がエネルギー効率改善と再生可能エネルギー活用を推進していることもあり、ドイツは世界的に環境保護先進国と呼ばれています。

特に、2000年に施行された再生可能エネルギー法で電力供給事業所は、再生可能エネルギーからの余剰電力を買い取る義務が定められたが、太陽光発電は、その法定買取り価格が法施行以前より大幅に引き上げられており、国家として太陽光発電の普及を促進しているとのことであります。

なお、ドイツの2010年時点でのエネルギー源における再生可能エネルギーの占める割合は7.9パーセントとなっており、一方で、日本の割合は1.1パーセントに留まっています。

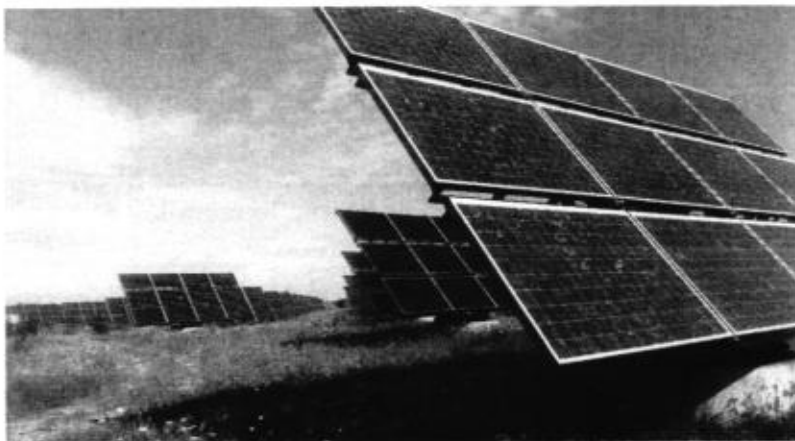
このソーラーパークは、旧東ドイツの工場跡地を低価格で買収し、利用しており、15.5ヘクタールの敷地内に438基のムーバーが設置されている。このムーバーは、1基につき高さ2メートル、幅2.2メートルのパネル12枚で構成されており、発電所全体で5,256枚のパネルが設置され、年間の発電量は、3.45メガワット、約1,300世帯、2,000人分の電気を賄うことができるとのことである。

なお、ムーバーは、日照の角度が最適になるように、可動式となっており、固定式のパネルに比べ発電効率が25パーセント高く、初期費用こそ固定式より高くなるものの、20年間で初期費用の回収が見込まれているとのことである。

その一方で、当初、1キロワットの売電料が50セント（約49円）であったが、今では、13セント（約12円）程度となり、管理費、維持費等を勘案すると、買電で利益を得るのは難しくなっており、今後の方向としては、工場、あるいは自宅の屋根に太陽光パネルを設置し、自分の電気は、自分が賄う、自給自足にシフトしつつあるとのことであった。

視察終了後、ベルリンへ戻る。（ベルリン泊）

ドイツ メガソーラーパークにて



《 7 日 目 7 月 3 1 日 ( 火 ) 》

午前 7 時 1 5 分、ホテルを出発。空路にて約 1 時間 3 0 分を要し、人口約 7 6 万人のオランダ最大の都市アムステルダムに到着。

午後から 2 時間「オランダ治水事業」について、ウォーターネット社を訪問し、当社の社長フンベルト氏及び担当者から説明を受けました。

オランダは、人口約 1, 7 0 0 万人、首都はアムステルダム。古来よりヨーロッパの交通の要衝として、また、交易事業の拠点として栄えており、運輸・通信部門の近代化が他国に比べて早く進んだ。

現在でも、EU の海の玄関といわれるユーロポートや、主要空港であり物流拠点でもあるスキポール空港、国内の都市間鉄道網を中心に産業が発展しています。

産業は、製鉄、機械、電気機器、造船、航空機等の金属工業や食品加工業、化学工業が中心である。特に、食品工業は近年、輸出の牽引力として有力視されており、国際的食品加工企業のユニリーバ、ビールで有名なハイネケン等の本拠地はオランダにあるとのことであります。

オランダでは、飲料水の供給、下水・汚水処理、地下水の保全、

水害対策を総合的に実施するために、アムステルダム市と周辺のアムステル、ゴーイ、フェクト河地域水管理委員会の出資により、ウォーターネット社を設立。治水・利水事業を総合的に行うことで、業務の効率化が図られるとともに、国民にとっても窓口が集約されサービスの向上につながっているとのことであります。

特に、水害対策においては、国土の4分の1が海拔0メートル以下にあるため洪水による被害が多い土地であり、また、近年では地球高温化に伴う海面上昇が確認され、堤防洪水対策に対する国民の意識は高く、海沿岸や河川沿いに堤防や堰が築かれ、ロッテルダム近くの新マース川下流の河口には1997年、「世界最大のロボット」と呼ばれる扇型の「動く防波堤」が築かれている。しかし、物理的に洪水を食い止める堤防や、水をくみ出すポンプ等のハード面の整備だけでは限界があり、総事業費2200万ユーロを投じ、情報技術による洪水の分析等ソフト面の洪水対策を推進する官民共同事業「洪水管理2015」が進められているとのことであります。

視察終了後、約3時間を要し、ドイツとの国境の町であり、2012年国際園芸博覧会が開催されているフェンロー市に移動、夕刻に到着。(フェンロー泊)



オランダ ウォーターネット社にて



## 《 8日目 8月1日（水） 》

午前9時にホテルを出発。今回の視察のメインテーマでもある「2012年フェンロー国際園芸博覧会」の会場に到着。

フロリアードとは、チューリップ等の花木産業が盛んなオランダで10年に1度行われる国際園芸博覧会であり、今回は、2012年4月5日から10月7日までの約6ヵ月間、アムステルダムから南東に約185キロメートルに位置するフェンロー市にて開催され、会場の敷地面積は約66ヘクタールを有している。

当事業の実施主体は、園芸産業のプロモーションやマーケティング機関であるオランダ園芸協議会と、開催地周辺の5つの自治体、レヒオ・フェンローによるジョイントベンチャーであり、オランダ国内からの展示のほか、日本を含む世界各地から42か国の参加があったとのことです。

本市からは、川口市農業青年会議所が中心となり、フロリアード2012出展実行委員会を結成し、日本の団体としては唯一、屋外庭園を出展しており、この出展は、本市の地場産業である花き・植木産業をはじめとする緑化産業の振興、PRを図るものであり、1982年に実行委員会により屋外に単独出展して以来、1992年

と2002年には日本政府と共同出展し、2002年には屋外樹木コンテストにおいて、金・銀・銅の三賞を受賞しており、今回が4回目の出展となります。

今回の出展は、日本の伝統的植木産業地域の代表としての認識に立ち、日本庭園の展示や催事を通して日本文化を紹介することで、日本産の農作物を広く世界に広報するとともに、あわせて、日本の卓越した生産・加工技術を紹介し、海外への販路拡張や国内広報による需要の拡大を図り、魅力ある農業、希望ある農業へとつなげ、後継者の育成、養成の一助にするとの考えに基づいて行われたとのことでもあります。

そのため、日本政府との連携、協力のもと出展が行われており、政府が行う催事について、政府出展の一部としての出展や、屋内展示や品種コンテストへの樹木出品への協力、講師の派遣等を行なったとのことでもあります。

出展概要は、屋外の環境をテーマとしたエリアであるT2サイトに、約250平方メートルの日本庭園を伝統的な手法を用いて造成。カツラやシラキといった高木や、シャクナゲ等の低木、ササやヤブランといった地被植物とあわせて、各種灯籠やししおどしが配置さ

れ、日本独自の風土、文化に培われた美的感覚と、伝統的な技術、技能の融合による現代的和風庭園を表現している。

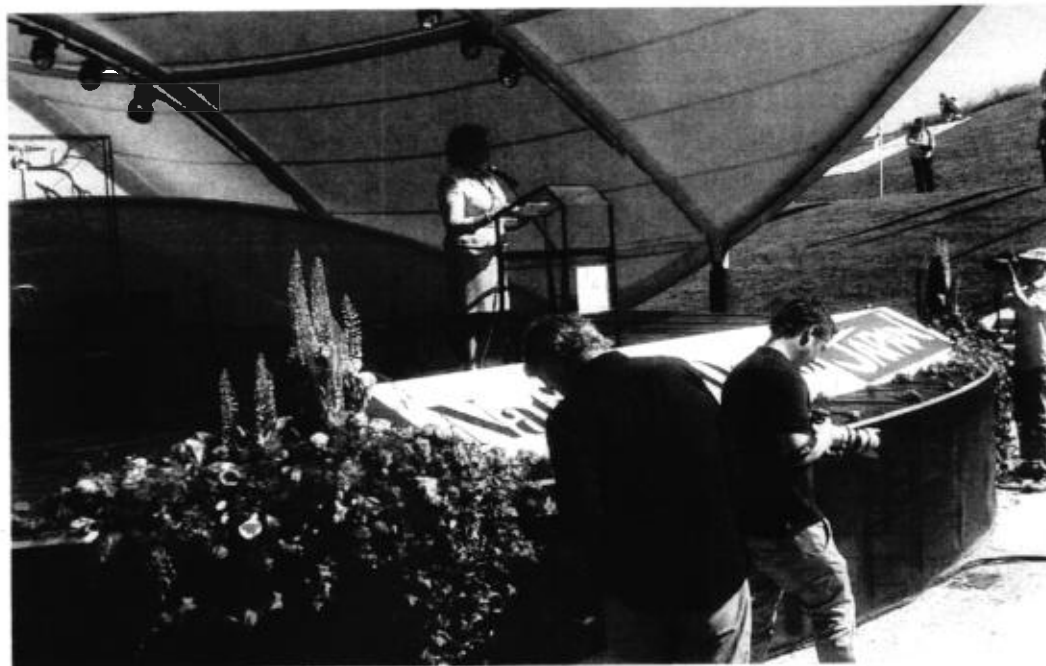
この日本庭園は、フロリアード開会前の2月から製作を開始し、開催期間中は現地の造園業者に管理を委託し、閉会後は解体することなく現地に管理を引き継ぐとのことであります。

庭園の造成にあたっては、植物や資材をコンテナで輸送したが、10年前の出展時に比べ検疫が厳しくなっており、また、2月という極寒の中、地面が凍りつくといった対応に苦慮する場面もあったとのことであります。また、ジャパンデーに合わせて行われる屋内品種のコンテストにも、川口からはゴヨウマツ、チャボヒバ、テイカカズラ、ヤマボウシが出品されていました。

視察終了後、バスにて約3時間を要し、アムステルダムへ移動。

(アムステルダム泊)

フロリアード2012 フェンロー市長挨拶



《9日目 8月2日(木)》

ホテルを午前9時に出発。午前11時50分にアムステルダム空港を発ち、午後3時15分にヘルシンキ到着。午後5時15分にヘルシンキを発ち、空路、帰国の途へ。(機中泊)

《10日目 8月3日(金)》

所要時間約9時間を要して、日本時間で午前9時、成田国際空港に到着。一行に多少の疲労感はあるものの、なんのトラブルもなく全員元気に帰国いたしました。

## 【おわりに】

今回は、本市及びフロリアード2012出展実行委員会から強い要請を受け、また、今後の植木をはじめとする本市の緑化産業の振興の支援に資するため、10年に1度行われる2012年フェンロー国際園芸博覧会の視察を行いました。

会場内の視察を通じて、「自然との共生」、自然と一体となることで生活の質、クオリティ・オブ・ライフの向上を図ることの大切さを痛感し、本市の花き・植木産業の振興、支援について、思いを巡らせた視察でありました。特に、現地にて、フロリアード2012出展実行委員会の椎橋美孝委員長、グループ総括リーダーの田中一吉氏をはじめとするメンバーとの意見交換において、本市緑化産業の現状と課題、さらにはフロリアード出展にあたっての苦労話に接することができ、大変有意義な時間でありました。改めて、日本人の誇り、川口気質の底力、そして、植木の里、安行ブランドの魂は、若者たちに脈々と伝わっていると感じた次第であります。

加えて、環境推進事業、教育事業等について、先進的な取り組みや制度について視察を行いました。環境推進事業をより一層進めることで持続可能な社会を構築すること、教育事業の充実を図ること

で次世代を担う若者を育成することの重要性を痛感させられるものであり、今後の本市のさらなる発展に資するものでありました。

いずれにいたしましても、多少強硬なスケジュールではありましたが、比較的天候にも恵まれ、大変有意義な視察であり、今後の本市政の中で大いに参考とし、市政の推進に役立てて参りたいと存じます。

#### フロリアード2012 川口市出展の日本庭園



視 察 資 料 編



# 視 察 先 の 概 要

調査項目	教育事業	訪問日時(曜日)	7月27日(金)
訪問先	EDUCLUSTER 社		
視察先所在地	Lutakonaukio 7, 40100 Jyväskylä	都市名	
		フィンランド	
	フィンランド教育事業		
視察のねらい	<p>EDUCLUSTER 社 MS, ヴオリ(マネージャー)</p> <p>フィンランド教育制度についてレクチャー。フィンランドは子供の学力、教員の資質が世界トップクラスであり、徹底した教育制度が確立しています。フィンランド教育制度の特徴は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①『平等で機会均等な教育が与えられていること』</li> <li>②『生徒の自主性を基本に据えていること』</li> <li>③『教育の管理権限が地方自治体や学校、教師に任せることが大きい』</li> <li>④『授業料が小学校から大学まで無料であること』</li> <li>⑤『教師の資質が高いこと』</li> </ol> <p>などが挙げられる。視察ではフィンランド教育制度の歴史的背景や特徴について下記の内容に則し専門家によるレクチャーとなります。</p> <p>【レクチャー内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィンランド教育制度についての概要 (歴史的経緯、国民意識、他国との比較など)</li> <li>・フィンランドの教育制度の成果と課題</li> <li>・日本とフィンランドの教育制度について (各国の教育制度についてのディスカッション)</li> <li>・質疑応答</li> </ul>		



# THE SECRETS BEHIND THE FINNISH EDUCATION SYSTEM

One-day intensive learning process for the Japanese delegation

Friday, 27th July 2012

Location: EduCluster Finland Office, Lutakonakio 7, 40100 Jyväskylä

Contact person:  
Ms. Katja Vuori  
Manager, Client Relations

EduCluster Finland Ltd  
Global Operations

katja.vuori@educusterfinland.fi  
mobile +358 40 591 3358

EduCluster Finland Ltd

Technopolis Innova  
Lutakonakio 7  
FI - 40100 JYVASKYLA

Technopolis Ruoholampi  
Hilbista 3  
FI - 00180 HELSINKI

www.educusterfinland.fi

**08.30 Meeting in the hotel lobby with the representative of EduCluster Finland Ltd.**

**Walking together to the meeting venue**

**09.00 Welcome to Jyväskylä, Finland!**

Getting to know each other and setting the goals for the day

**09.30 The famous Finnish education system**

What kind of education system is the one which nurtures life-long learning?

**11.30 Lunch break**

**12.30 Workshop about the challenges of education in Japan**

**13.15 Specified views on Curriculum development - The Finnish viewpoint**

What the Finnish national core curriculum includes, and how this framework is established in local settings by the education providers and educational institutions?

**14.00 Coffee break**

**14.30 Specified views on Teacher education - The Finnish viewpoint**

How do we train our teachers to provide the best education in schools?

**15.15 Questions and answers**

**Reflection for the day**

How could we accelerate or support the change in education culture and models in our home country? The Finnish Quality Criteria for Basic Education will be used as a frame for the discussion

**16.30 Walking together to the hotel**

**17.00 Ends at hotel**



## Participant list:

1 Mr.MOGAMI NORIHIKO member of KAWAGUCHI municipal assembly

2 Ms.SEKIGUCHI KYOKO member of KAWAGUCHI municipal assembly

3 Mr.OZEKI NOBUYOSHI member of KAWAGUCHI municipal assembly

4 Mr.TATEISHI YASUHIRO member of KAWAGUCHI municipal assembly

5 Mr.NOGUCHI HIROAKI member of KAWAGUCHI municipal assembly

6 Mr.ITABASHI TOMOYUKI member of KAWAGUCHI municipal assembly

7 Mr.UDAGAWA YOSHIHIDE member of KAWAGUCHI municipal assembly

8 Mr.OSHIDA ZENJI head of the secretariat

9 Ms.AOKI TOMOE TOUR ESCOURT

10 Mr.KARIKOSKI AKI INTERPRETER

Contact person:

Ms. Katja Vuori  
Manager, Client Relations

EduCluster Finland Ltd  
Global Operations

katja.vuori@educlusterfinland.fi  
mobile +358 40 591 3358

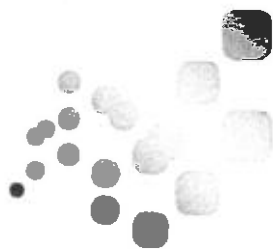
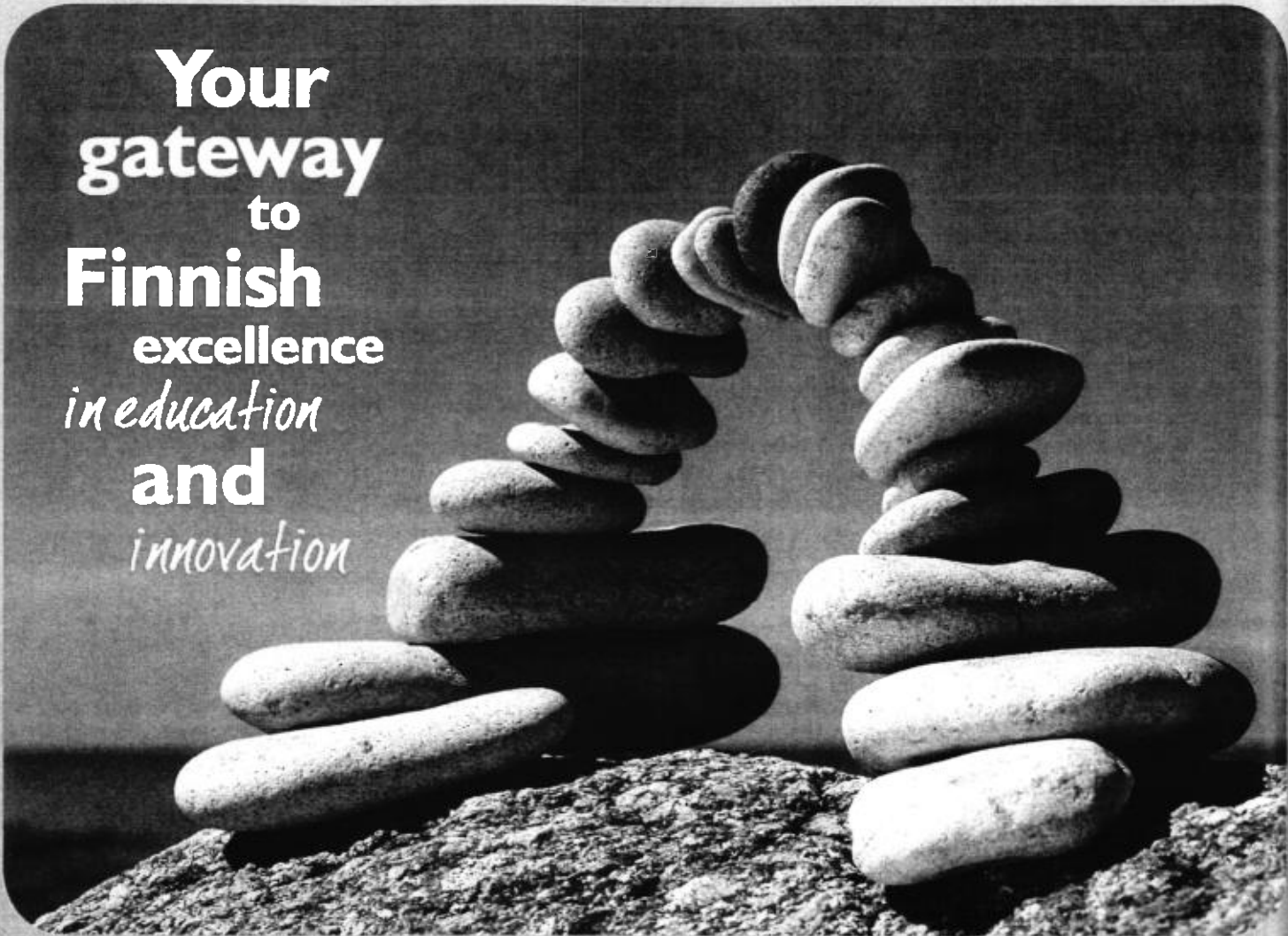
EduCluster Finland Ltd

Technopolis Innova  
Lutakonaukio 7  
FI - 40100 JYVASKYLA

Technopolis Ruoholahti  
Häikkäkatu 3  
FI - 00180 HELSINKI

[www.educlusterfinland.fi](http://www.educlusterfinland.fi)

**Your  
gateway  
to  
Finnish  
excellence  
*in education*  
and  
*innovation***



**EDUCLUSTER**  
*Finland* **LTD**

**EduCluster Finland Ltd (ECF) is a new generation expert organization specializing in education and development. We collaborate with organizations to enable competence and capacity-building, as well as with bodies responsible for the development of education systems.**



## CASE: EPA Programme, Abu Dhabi

EduCluster Finland Ltd. has a partnership programme for creating a pedagogical fusion of Abu Dhabi and Finnish experience, leading to the creation of world-class flagship schools in Abu Dhabi and Al Ain. The process requires designing and testing the introduction of a classroom teaching model within the new Abu Dhabi curriculum. It serves to develop show-case examples of the new schools over 2010- 2015, establishing new pedagogical knowledge which closely fits to the new curriculum and which enables Abu Dhabi teachers to develop teaching and learning through a class teacher model.

Find out more about our  
client solutions and experts:  
[www.educclusterfinland.fi/en](http://www.educclusterfinland.fi/en)



**Wide** expertise platform  
enabling *integrated knowledge*

**Specific and**  
*tailored* solutions

*Client-based* consultancy,  
training, and **facilitation**

**Building up** *new* processes



#### EDUCATION POLICY DESIGN

ECF Ltd. is a gateway to Finnish success in education with access to all the best educational practices, expertise and operational models for developing education systems.

We act as strategic partners in co-developing educational systems and institutions in addition to implementing education policies and strategies.



#### LEARNING REGION DESIGN

ECF Ltd. operates unique educational networks for enhancing regional innovation, competitiveness, and economic viability.

Based on hands-on development expertise, we offer special expertise for learning region development as well as concepts and tools to enhance the performance of regional economy.



#### HR DEVELOPMENT

When in need of management development, subject-specific in-service training or the best teacher training in the world, our lead experts can facilitate needed change processes.

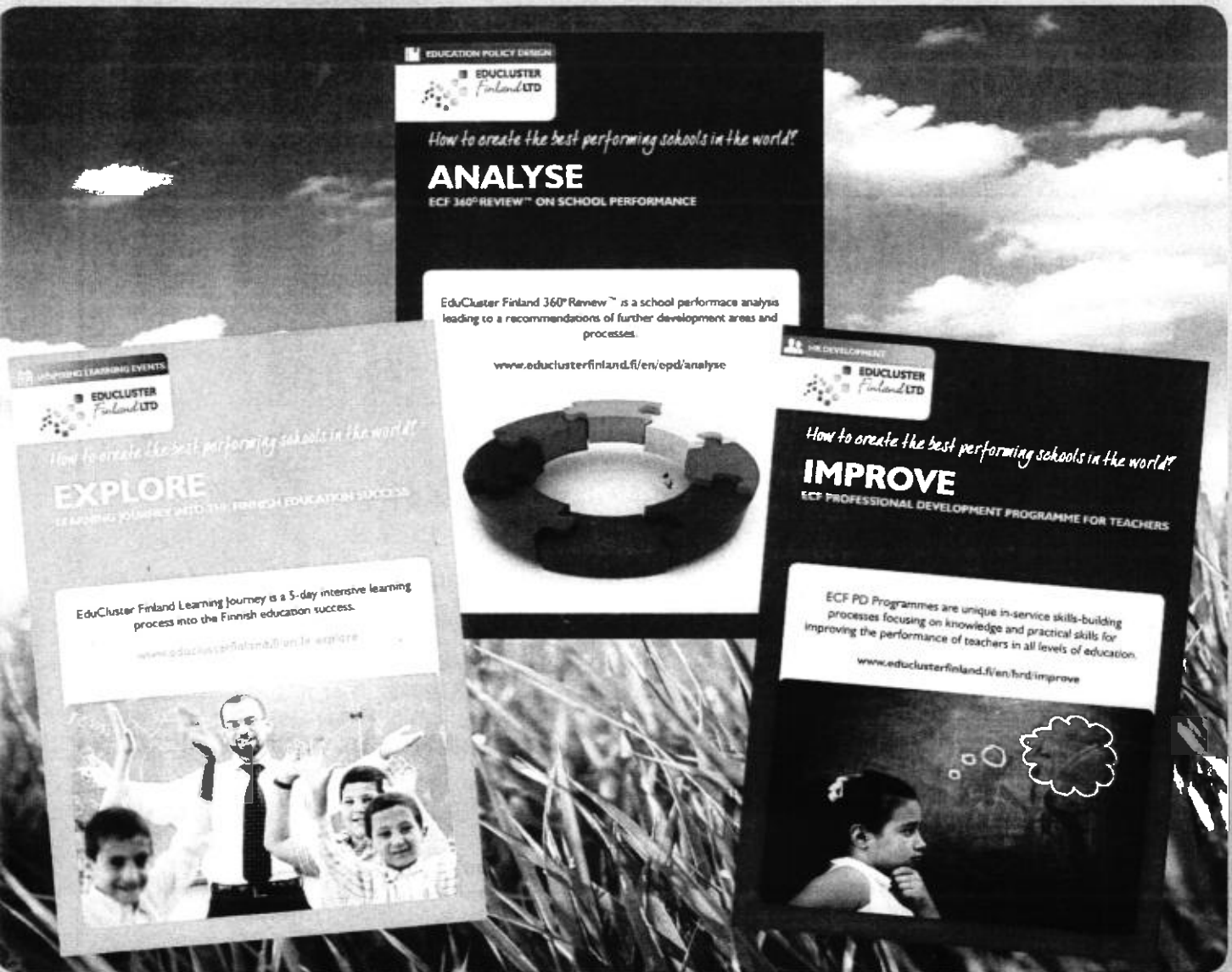
We offer tailor-made and integrated professional development processes, and short-term training courses across diverse specializations.



#### INSPIRING LEARNING EVENTS

ECF Ltd. is an expert in creating events that concentrate on making the most out of the knowledge, experiences, ideas and feelings of the people present.

We produce unique learning experiences through facilitated workshops and seminars as well as custom-made learning visits in Finland or overseas supported by the newest learning technologies.



ECF Ltd. is part of the University of Jyväskylä group and owned by the University of Jyväskylä, JAMK University of Applied Sciences and the Jyväskylä Educational Consortium.

**EduCluster Finland Ltd.**

Technopolis Innova | Piippukatu 11, FI - 40100 JYVÄSKYLÄ  
 Technopolis Ruoholahti | Hiilikatu 3, FI - 00180 HELSINKI

Elise Tarvainen | Director, Global Operations  
 elise.tarvainen@educlusterfinland.fi | Tel. + 358 50 440 7989  
 www.educlusterfinland.fi

# 視 察 先 の 概 要

調査項目	環境推進事業	訪問日時(曜日)	7月30日(月)
訪問先	GEOSOL Beteiligungsgesellschaft mbH ゲオソル・グループ		
視察先所在地	Cicerostrasse 37 D-10709 Berlin, Germany	都市名	
		ドイツ ボルナ	
ドイツ環境推進事業(メガソーラープラント)視察			
視察のねらい	<p>ゲオソル社 MR ツェルマー(ソーラー部門技術責任者)</p> <p>メガソーラープラント視察。環境推進国ドイツでは、褐炭の露天掘り炭田跡を埋め立てた敷地面積15ヘクタールの土地に、5万平方メートルのソーラーパネルを設置、国の再生可能エネルギー買い取り政策を契機に同パークのような大規模な太陽光発電所が随所に生まれています。</p> <p>太陽光発電先進国のドイツにおける、太陽光発電の現状や国民の電力に対する問題意識などをレクチャー。</p> <p>【視察内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツが太陽光発電先進国として注目を集めるようになった経緯</li> <li>・太陽光発電の重要性</li> <li>・ヨーロッパ圏内における太陽光発電のシェア</li> <li>・ヨーロッパにおける原子力発電所の位置づけと国民の評価</li> <li>・国民の節電に対する意識のレベルについて</li> <li>・ドイツからみた日本の電力事情について</li> </ul> <p>(原子力発電所の停止について、太陽光発電のシェア、国民の意識の違い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メガソーラーの運営におけるコストや運営方法</li> <li>・質疑応答</li> </ul>		

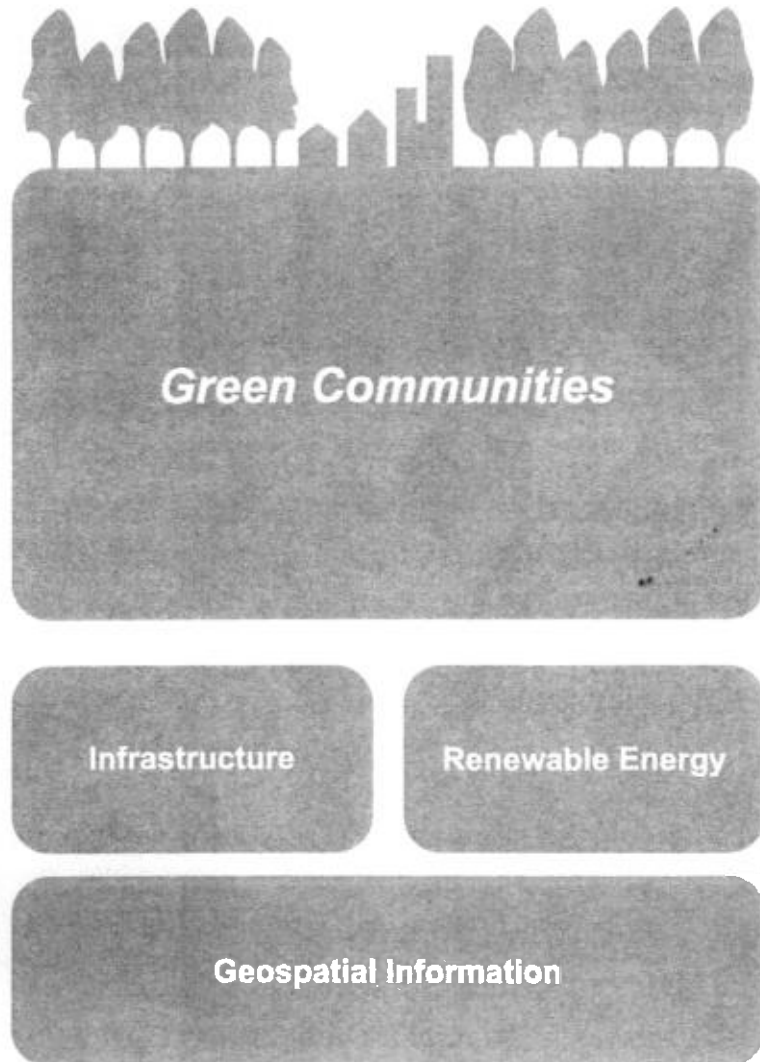




**GROUP PROFILE**



# Towards a better future for Japan and the world



## Core competencies

### Infrastructure:

The underlying foundation needed for the continued existence of a country or society. Kokusai Kogyo Group has been contributing to a wide range of social infrastructure projects, including public administration support, disaster relief, and land conservation.

### Renewable Energy (RE):

Kokusai Kogyo Group has built up a solid track record and know-how in the field of photovoltaic power generation both in Japan and overseas.

### Geospatial Information:

Kokusai Kogyo Group employs advanced geospatial information analysis techniques on data captured with its state-of-the-art measurement technologies to set apart its social infrastructure and RE projects.

## Towards green communities

### leading the way from our unique geospatial information advantage

We have assisted in the modernization of cities and of Japan by conducting ever more accurate surveys and creating ever more accurate maps. Our mapping technologies have evolved into geospatial information technologies, which have become indispensable for urban management and land preservation, and for the continuance of the affluent and comfortable lifestyle enjoyed in this country.

Geospatial information is now an essential part of our economic activities. The arrival of a sophisticated geospatial-information-using society—the G-spatial society—brought on by the popularity of location-based services on mobile devices, has resulted in the rapid increase of the range of application of this key technology.

Geospatial information technologies and GIS, which have long focused on supplying ministries and local governments with map information and more efficient administrative tools, has become a breath of fresh air to businesses looking for new and creative ways to expand. As the leading professional in this field, we are committed to developing even more sophisticated and value-added uses of geospatial information technology for this new G-spatial society.

Our geospatial information technologies contributed to the collection of data for damage assessment and recovery planning, following the March 11 earthquake and tsunami in Japan. Our long-accumulated collection of disaster risk reduction services, from computer modeling of tsunami damage to community hazard (emergency) map making, drew international attention and recognition.

This recent disaster has prompted countries all over the world to reassess their social infrastructure and recognize the necessity for disaster-resistant urban planning; thus, low-carbon communities that meet these needs, and which are tailored to local conditions and utilize renewable energy options, have come into demand. We intend to assist the development of advanced cities in countries with emerging economies, with our integrated package of land conservation, disaster management, and environmental management know-how accumulated through our years of working in Japan.

We, at the Kokusai Kogyo Group, will lead the world towards earth- and people-friendly, disaster-resistant *green communities* through our geospatial information consulting business.

Comprehensive one-stop service for geospatial information consulting

Data collection & capture

Assessment & analysis

Application & utilization

#### Our Strengths

As a geospatial information technology consultant, our Group provides full-fledged, one-stop technical solutions by utilizing our GIS technology to analyze data captured accurately from space, the sky, the ground, and the sea. Our many years of community-based involvement in land conservation, disaster prevention, and solving environmental issues throughout Japan has given us firm knowledge about the topography, natural environmental, and socio-environmental conditions of each region, giving us the ability to understand the opinions and needs of local residents and to build *green communities* with a local-based perspective.

*Consulting for low-carbon urban planning*

**Urban planning that makes the most of regional strengths and environmental resources**



Ratio of green space in urban areas



Eco-town development project

We have extensive experience in urban planning assisting local governments throughout Japan with services related to urban plan development and land use surveying. Using our geospatial information expertise to encourage the monitoring of CO<sub>2</sub> absorption by forests, or the adoption of energy and transportation alternatives such as solar, wind, hydropower, and electric vehicles, we breathe new life into and revitalize local and regional areas as low-carbon communities supported by both the local production and consumption of energy.

*Solutions for overseas markets*

**Creating advanced cities in emerging nations with geospatial information technologies**



Digital topographical mapping (Montenegro)

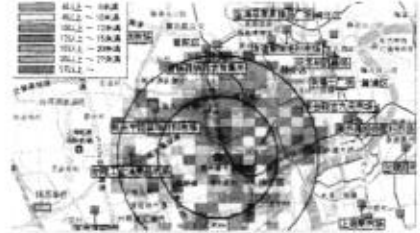


Groundwater resources assessment (Ethiopia)

Over the last 40-plus years we have been involved in various development aid projects, improving countless lives in more than 100 countries around the world. Using our geospatial information technology, we have additionally provided total solutions for disaster prevention, infrastructure development, and the development of renewable energy potential in Asian countries such as Indonesia and Vietnam, as well as the Middle East.

*Solutions for corporate clients*

**Business innovation through the addition of geospatial information**



GIS market analysis and customer information management



Geospatial 3D modeling

We support corporate clients through our geospatial information-based area-marketing solutions for retail support and facility management systems for infrastructure companies. In keeping with the development of the G-spatial society, we have started to provide geospatial information solutions suitable for an even wider range of industries and businesses both domestic and overseas, and to develop an open platform that will enable anyone to utilize geospatial information and provide an environment whereby companies can easily enter into collaboration or affiliation.

*Land conservation services*

**Making the nation safe for future generations**



Tunnel topography analysis using 3D laser data



Damage assessment for March earthquakes using Pictometry

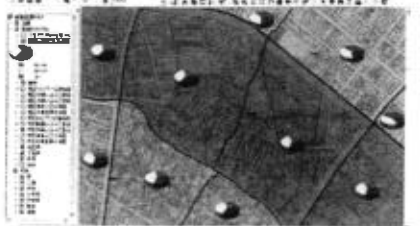
At Kokusai Kogyo Group we have always kept our focus on the needs of each era, and contributed to social infrastructure projects through our unique geospatial information technologies. We believe this tragic disaster should be seen as a wake up call—an opportunity to rebuild our nation with sustainable and environmentally-friendly social infrastructure where people can lead safe and secure lives, to be passed on to future generations.

*Administrative support for local governments*

**Supporting administrative policymaking and undertaking administrative services**



Building integrated GIS platforms



Administrative support GIS

We have extensive experience managing all kinds of infrastructure—roads, fixed assets, water, and sewage—for local governments nationwide. We will use our accumulated knowledge when we support policymaking efforts or undertake administrative services on behalf of local governments, in order to improve the quality of public services so that we may together create cities where residents are assured of their safety.

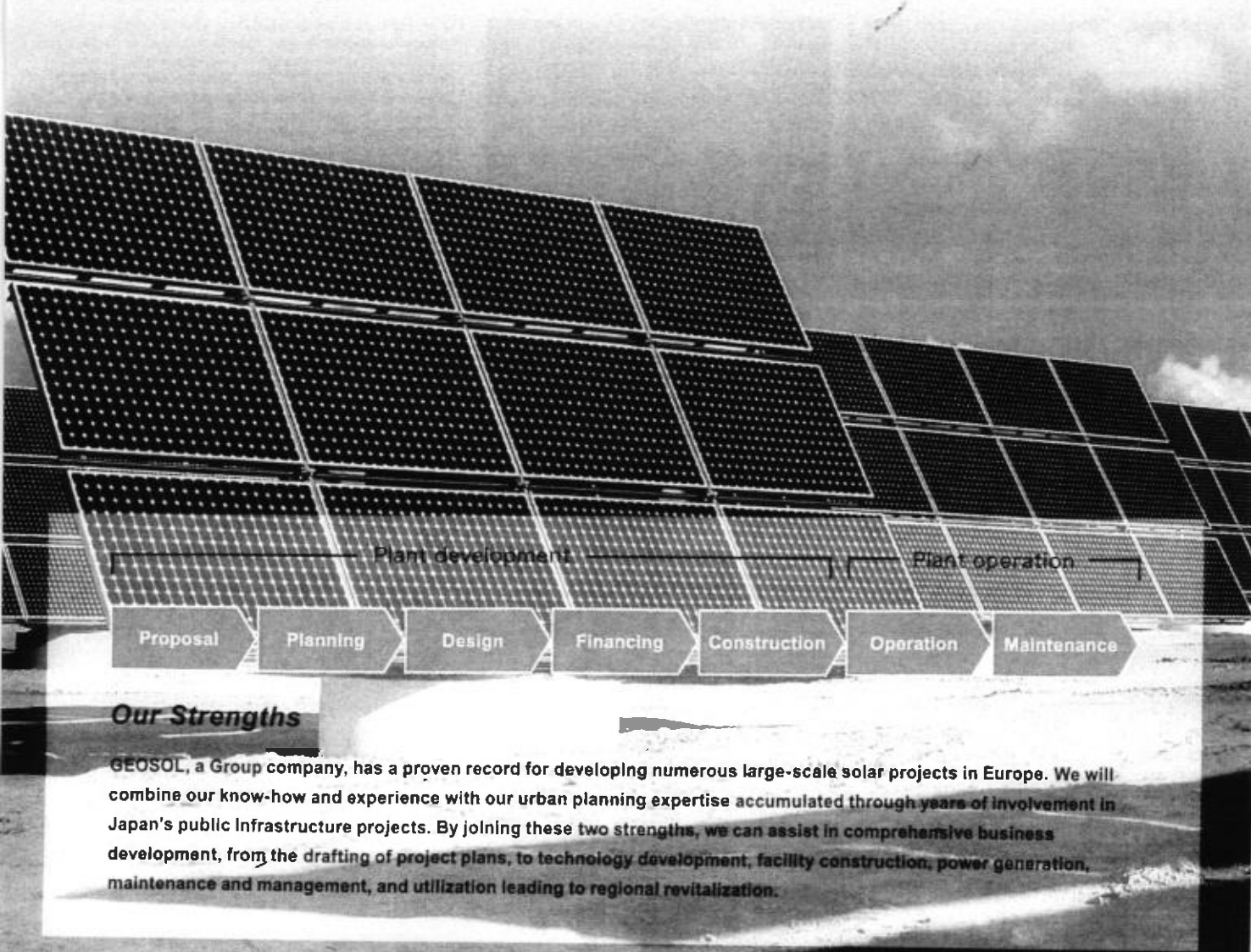
## Towards green communities through green energy for prosperous local communities

In 2009, through our acquisition of GEOSOL Beteiligungsgesellschaft mbH, we made a full-fledged entry into the *green energy* field, with a focus on the development of large-scale solar power plants. We have continued to develop our solar generating capacity in Europe—the foremost solar market—while also entering another important market, Japan—the world's leader in solar technologies—with our large-scale Tsuno SolarWay in Miyazaki Prefecture.

In overseas markets, centered in Europe, we have endeavored to adapt and optimize our solar operations to the regional characteristics and policies of each potential market. In Japan, we are expanding our share of the large-scale solar power market to help revitalize and advance local communities, by capitalizing on the combined strength of technologies developed and accumulated through GEOSOL's years of experience, our nationwide sales network, and our many years of trust relationships with national and local governments.

We are also actively engaged in advancing low-carbon societies by capitalizing on the knowledge gained by operating power plants and offering renewable energy-related consulting, regional revitalization planning, and environmental policy evaluation services.

Our goal is to build more secure and vigorous local communities, namely a *green community*, by supporting this new environmentally- and energy-conscious age through our *green energy* initiatives.



### Our Strengths

GEOSOL, a Group company, has a proven record for developing numerous large-scale solar projects in Europe. We will combine our know-how and experience with our urban planning expertise accumulated through years of involvement in Japan's public infrastructure projects. By joining these two strengths, we can assist in comprehensive business development, from the drafting of project plans, to technology development, facility construction, power generation, maintenance and management, and utilization leading to regional revitalization.

## Solar Power

### Our direction in Japan

#### Miyazaki Solar Way Project

We developed the Tsuno SolarWay, an array of 12,962 solar panels on 3.9 km of an elevated track that was formerly used to test maglev trains, based on a public-private partnership agreement with Miyazaki Prefecture and Tsuno Town. This plant boasts a power generation capacity of 1,050 kW. This project—promoted by Miyazaki Prefecture as part of the Miyazaki Solar Frontier Vision—capitalizes on this southern region receiving some of Japan's highest solar radiation.

In addition to supplying electricity, the plant acts as a base for environmental and energy education, serves as a tourist attraction, and the additional environmental value generated is traded as Green Power Certificates. We actively strive to systematically incorporate elements that would vitalize local communities.

This project marks the dawn of a new natural energy era and has attracted substantial media attention. We are now focusing our entire Group resources on rolling out similar solar projects nationwide.

#### \*Miyazaki Solar Frontier Vision

Designed to vitalize communities and attract industries based on expanded adoption of solar power, this vision was formulated by Miyazaki Prefecture in March 2009 and aims to develop a solar power hub that incorporates the three elements of manufacturing, power generation, and utilization.



Array of panels on former maglev test track



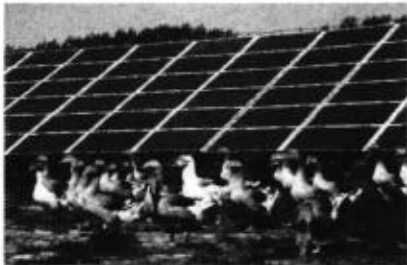
Electrical control room and grid connection point



The 3.9 km-long Tsuno SolarWay

### Our Direction Overseas

#### Leading the solar generation market in Europe

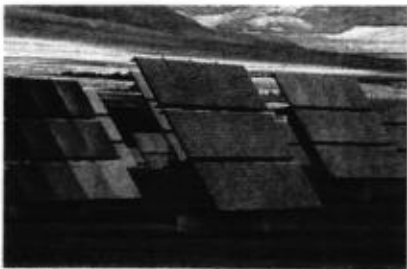


Leipzig Land (Germany)



Borna (Germany)

Our European subsidiary, GEOSOL, is a pioneer developer and manager of large-scale solar projects in Europe, with major operations in four countries: from environmentally advanced Germany to Spain, Italy, and the Czech Republic. The GEOSOL Group maintains its wide-spread network of relationships, including locally based networks for project sourcing, manufacturing and installation companies, financial institutions, and investors. As of the end of July 2011, the GEOSOL Group had developed 24 solar projects totaling approximately 59 megawatts in generating capacity. Capitalizing on our experience and track record in Europe, we are working to expand our business globally.



Alicueria (Spain)



Guagnano (Italy)



U Nemčice (Czech Republic)

## Wind Power

### Our direction in Japan

#### Hojo Dune Wind Farm

We provided Hokuei Town in Tottori Prefecture, an environmentally progressive municipality, with in-depth wind analysis and design parameters for construction of a large-scale, 13,500-kW wind farm on the Hojo Sand Dunes facing the Japan Sea. This wind farm utilizes environmentally-friendly wind power and serves as a model for large-scale wind farms, attracting attention from municipalities within Tottori Prefecture and throughout Japan.



Wind farm in Hokuei, West Japan



Large-scale wind farm (13,500-kW)

## Towards green communities

# through the creation of environmental value and increase of asset value of local communities and client-held properties

Measures to combat environmental problems such as global warming and climate change are a matter of interest worldwide. Japan's mid-term target of CO<sub>2</sub> (greenhouse gas) emissions reduction is 25% from its 1990s levels by 2020. CO<sub>2</sub> emissions generated by real estate-related sectors (commercial and residential) currently account for over 30% of total emissions in Japan, and is in an increasing trend.

We believe that real estate—that makes up local communities and urban infrastructure—must itself be sustainable and have high environmental value.

Since 1947, we have long been engaged in the real estate business both in Japan and overseas, including real estate development, operation, and maintenance; environmental solutions consulting; and housing and other services. To the solid performance record and experience accumulated through our long history in real estate, we can now add our integrated group expertise, and our geospatial information and *green energy* technologies.

Through our integrated expertise, we have added consulting services to our real estate menu such as renewable energy potential consulting, building assessment, energy conservation diagnoses, construction management, and facility operation and management. We are advancing the development of eco-towns—safe, secure, and disaster-resilient communities—thereby helping local communities and clients increase their asset value and also create new environmental value.

Expertise in real estate  
and urban planning



Renewable energy  
consulting



Increased property  
values

### Our Strengths

With our know-how accumulated through our own real estate development and commercial building rentals, we provide client support from a management-oriented perspective, from business planning to exit strategy. We provide both services in project management in the property development phase, and property management in the operating phase following construction, and throughout the process, we operate from the proprietor's standpoint. We also provide a one-stop service including everything from planning and development to construction, corporate tenant recruitment, and operation and management of business facilities and solar power plants. We make the best use of our group network and experience in building social infrastructure, city planning, and renewable energy into our real estate consulting services.

## Green Property Development

### Eco-Towns

#### Creating resilient communities



LCP-oriented housing

We help realize safe and secure communities by installing solar systems and home energy management systems\*1 (HEMS), supplying environmentally sustainable homes with longer life spans, and creating life continuity plan\*2 (LCP)-oriented communities that can secure basic services for their residents following a disaster.

\*1 Home energy management system (HEMS): A system that utilizes information technologies to manage energy demand at home.

\*2 Life continuity plan (LCP): A plan designed for maintaining basic services following a disaster through securing lifeline utilities for homes, individuals, and local communities, securing emergency supply warehouses, and communicating information.

### Green Buildings

#### Achieving comfortable work styles in environmentally-friendly buildings

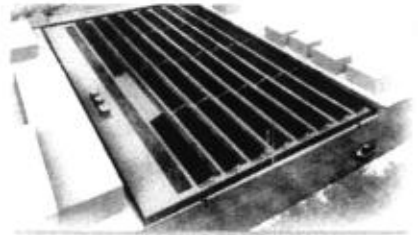


Environmentally-friendly buildings

We support diverse communities of office workers in Japan and abroad, by promoting building developments that are confirmed to be environmentally conscious, energy efficient, and having a longer building lifespan through our reliable third-party assessment system for environmental efficiency, as well as making use of renewable energy.

### Solar Power

#### Reducing peak electricity consumption



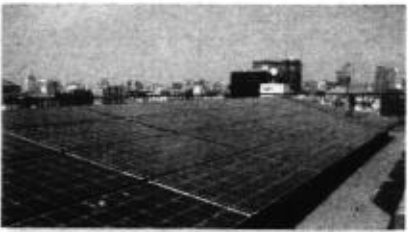
Solar farm (Tatebayashi City, 60 km north of Tokyo)

We are transmitting power generated at a remote solar farm to our offices via the power grid, supplying approximately 50% of our power consumption during our peak consumption hours. We are thereby helping prevent power shortages in the midst of Japan's energy crisis.

## Energy Solutions

### Power Generation Consulting

#### Solar consulting services from a business owner's perspective

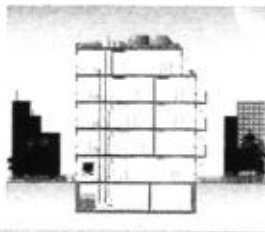


Rooftop solar system

We keep the best interests of business owners and proprietors in mind when assessing properties and providing one-stop renewable energy solutions covering everything from project planning and construction, to maintenance and management, of solar and other power generation facilities.

### Energy Conservation Consulting

#### Saving energy and reducing life cycle costs\*3



Energy conservation and generation facilities

Through analysis of the life cycle cost (LCC) of a facility, we offer solutions to reduce energy costs—accounting for approximately 75% of LCC—to reduce carbon emissions throughout the life of a facility and maximize its real estate value.

### Environmental Value Consulting

#### Creating environmental value by issuing Green Power Certificates



Green Power Certificate

By converting the added environmental value that arises as a result of renewable energy generation into tradable Green Power Certificates, our Group assists clients in shortening their investment payback period, securing maintenance and management costs for existing power generation facilities, and obtaining funds for the construction of additional renewable power facilities to further increase their environmental value.

\*3 Life cycle cost (LCC): The cost incurred throughout a full life of a building or facility (from planning, design, construction, use, renovation, to demolition).

## Real Estate Solutions

### Strategies for Maximizing Property Performance

#### Optimizing utilization of corporate, public and university real estate



Utilization of campus by joint enterprise

We help our clients gain the most value for their real estate investments through innovative strategies. Our asset utilization strategies enhance corporate value and revitalize local economies and university campuses. We give an advantage in rapidly changing business and social environments—with declining birth rates and aging populations—and bring a business perspective to public and educational property management.

### Property Management

#### Maximizing profitability through our leading rental property management services



Building under our property management

Capitalizing on the building management expertise nurtured through our real estate leasing operations, we will maximize the profitability of real estate by recruiting excellent corporate tenants and taking over daily maintenance and management, in addition to providing consulting services in energy generation and conservation.

### Soil and Groundwater Protection, Environmental Asset Utilization

#### Environmental management services



Identifying environmental assets through aerial photo interpretation

A trusted partner in environmental management, we provide environmental risk mitigation engineering services—soil contamination and asbestos removal—and give advice on making environmental assets—green spaces and groundwater resources—more visible.



# 視 察 先 の 概 要

調査項目	治水・利水事業	訪問日時(曜日)	7月31日(火)
訪問先	Waterschap / World Water net ウォーターネット社		
視察先所在地	都市名		
	オランダ アムステルダム		
アムステルダム水利事業視察			
視察のねらい	<p>ウォーターネット社 MR.ヤンクード(管理者)、MRヒエラルド・フンベルト(ワールドウォーターネットのトップ 国連メンバー)、MR. ロブフェル(プレゼンター) 洪水防災先進国オランダ アムステルダム視察。</p> <p>国土の4分の1が海拔0メートル以下にある「低地の国」オランダでは、1953年、大暴風雨に伴う洪水で1800人以上の死者が出ました。また近年では地球温暖化に伴い、海面上昇が確認され、この国の堤防洪水対策に対する国民意識の高さも顕著です。このような状況もあり、海沿岸や河川沿いに堤防や堰(せき)が築かれ、ロッテルダム近くの新マース川下流の河口には97年、「世界最大のロボット」と呼ばれる扇型の「動く防波堤」が築かれています。しかし、堤防などで物理的に洪水を食い止めるハード面の整備だけでは限界があるため、総事業費2200万ユーロ(約24億5000万円)を投じ、情報技術(IT)によるソフト面の洪水対策を推進する官民共同事業「洪水管理2015」を進められています。洪水や津波に対する防災意識が高まる日本との比較などのレクチャー。</p> <p>【視察内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災対策についてのレクチャー</li> <li>・洪水対策についての従来からの取組み(堤防建設)の成果と課題について</li> <li>・アムステルダム市民の洪水に対する危機管理・個々人の防災意識について</li> <li>・「洪水管理2015」についての概要について (成果・課題)</li> <li>・ITを活用したソフト面での洪水対策について</li> <li>・アムステルダムの防災対策の近隣諸国への影響力</li> </ul>		



世界に誇れる日本の花

# World-class Japanese Flowers

# I. Introduction

## I. Productive Land Blessed by Distinctive Seasons and Boasted of its Flower Culture

### *"Breeding and Production of Quality Flowers and Plants"*

Japan with a long history of more than 2000 years, is surrounded by water and is consisted of arch-like islands running from the northeast to southwest. It is blessed by four distinctive seasons, which gave rise to its unique and diverse cultures and traditions.

There are about 40,000 cultivars of flowers and plants that are commercially produced and marketed in Japan. Among those, approximately 3000 to 5000 cultivars are newly introduced to the flowers and plants market, and this number is unbeatable in the world. In addition, the quality of the flowers and plants, and the sophisticated floriculture techniques in Japan are highly evaluated on the international realm. From this perspective, Japan's productive land and rich flower culture are closely related to one another.

This booklet introduces a selection of high quality, world-class Japanese flowers with major features.

We made this booklet in hopes of informing many people abroad about Japanese flower and being useful for expanding your business. We hope it will be utilised in many ways.

### 【はじめに】～四季に恵まれた豊かな国土と咲き誇る花文化～

“優れた花きの育成と生産” 2000年以上に及ぶ長い歴史を有する日本は、周囲を海に囲まれ、東北から南西にかけて細長く伸びた弧状の列島で形成されています。四季がきわめてはっきりしており、それは、この国に独特の自然観とさまざまな文化をもたらしました。日本で商業的に生産・販売されている花きは40,000品種。そのうち毎年3,000～5,000品種もの新品種が日本の花き市場に登場しており、その数は世界一です。さらに、日本の花きの品質や高度な栽培技術は、国際的にも高く評価されています。こうした事実と日本の豊かな国土および豊かな花文化とは、きわめて密接な係わりがあります。

この資料では、世界に誇れる高品質な日本の花きを「主な特徴を持つ」ものをセレクトして紹介しています。この機会に海外の多くの方々を知っていただき、皆様のごビジネス拡大に役立てていただきたいと思います。願わくばご利用いただきましたら幸いです。





## CULTURE / KULTUR

# WELCOME WILLKOMMEN FLORIADE 2012!

This map guides you through the theatre of nature. Be amazed by interesting architecture, be inspired by the world's finest gardens, and relax as you wander past beautiful flowers and plants.

Enjoy a delicious lunch in one of our five restaurants or sample exciting world dishes on Floriade Boulevard. Then end your day with the spectacular Floriade Show filled with dance, music and acrobatics.

Diese Geländekarte zeigt Ihnen den Weg durch das Theater der Natur. Lassen Sie sich von außergewöhnlicher Architektur überraschen, von den schönsten Gärten der Welt inspirieren und entspannen Sie sich bei einem Spaziergang entlang wunderschöner Blumen und Pflanzen.

Genießen Sie einen wohlschmeckenden Lunch in einem unserer fünf Restaurants oder kosten Sie auf dem Floriade Boulevard spannende Gerichte aus aller Welt. Beenden Sie den Tag mit der spektakulären Floriade how mit Tanz, Musik und Akrobatik!



**Limburg in the World and the World in Limburg**  
At Floriade, you constantly encounter music and theatre from all over the world. Artists from Togo, Brazil, Indonesia and Romania, to name but a few, tour the park every day on their mobile stage. Besides international culture, Limburg Culture is also richly represented. A local Ensemble or Brass Band performs on Floriade Street every day from 4:00 to 6:00 p.m. And every Sunday, there is a special Picnic Concert in the Floriade Theatre.

**Limburg in der Welt und die Welt in Limburg**  
Die Floriade überrascht die Besucher ständig mit Musik und Theater aus aller Welt. Artisten aus Togo, Brasilien, Indonesien, Rumänien und anderen Ländern ziehen jeden Tag mit ihrem mobilen Fahrradpodium durch den Park. Nicht nur die internationale Kultur, sondern auch die Limburgische Kultur ist gut vertreten. Täglich von 16:00 bis 18:00 Uhr spielt eine Musikkapelle oder ein Fanfarenorchester aus der Region auf der Floriade Street. Jeden Sonntag findet im Floriade Theatre ein besonderes Picknick Konzert statt.

## EXPEDITION PAST / FRÜHER

In the Floriade Park, archaeological finds have been uncovered going back 5000 years. The cultural-historical footpath reveals the rich history of the Floriade site. During your walk, you meet its former inhabitants from prehistoric times, the Middle Ages and the Napoleonic Era. The route starts in the St. Janshoeve and is ideal for children.

Auf dem Floriade-Gelände wurden bis zu 5000 Jahre alte Spuren gefunden! Die kulturhistorische Route ist dieser historischen Vergangenheit des Floriade-Geländes gewidmet. Auf dieser Route bekommen Sie eine Vorstellung vom Leben der Menschen in der Urgeschichte, im Mittelalter und zur Zeit Napoleons auf dem Floriade-Gelände. Die Route beginnt im St. Jans-Bauernhof und eignet sich auch sehr gut für Kinder.



## PARK GUIDE / PARKFÜHRER

The Floriade park guide is a 62 page, richly illustrated park guide describing what there is to see and do at Floriade 2012. The guide includes specially commissioned illustrations of the park combined with detailed practical and cultural information. The guide costs € 7.00 and is available from the ticket office and the Guest Relations desk in Floriade Street.

Der Floriade Parkführer ist ein 62 Seiten umfassender, gut illustrierter Park-Führer mit Angaben über das komplette Angebot der Floriade 2012. Der Führer enthält speziell angefertigte Illustrationen des Parks, sowie detaillierte Informationen zu praktischen Fragen und zum kulturellen Programm. Der Führer ist zum Preis € 7,00 von an der Kasse und beim „Guest Relations“-Schalter in der Floriade Street erhältlich.

DOWNLOAD NOW THE FREE FLORIADE APP FOR ANDROID AND IPHONE

LADEN SIE HIER GRATIS DIE FLORIADE APP FÜR IHR ANDROID HANDY ODER

IPHONE HERUNTER

## THE FLORIADE SHOW

The spectacular Floriade show features a mix of music, theatre, dance and acrobatics. The show is performed twice a day, in the Floriade Theatre and in the main show of the Floriade. The theme of the show is harvest time and gratitude; had an hour of stunning acrobatics, world music, and traditional and modern dance. A fantastic spectacle for young and old.

The Floriade Show is performed by young musicians, acrobats and dancers from African, Asian and Latin American developing countries. Floriade has organised this special project together with The United Cultures for Development (UCD), through which young people, many from the slums, are trained to become entertainers.

The Floriade music is people. That's our mission and our sustainability.

Tuesday to Sunday  
3:30 p.m. – 4:00 p.m.  
5:00 p.m. – 5:30 p.m.  
Floriade Theatre



Die Floriade Show metelt in de grootste spektakulaire mix van muziek, theater, dans en acrobatiek. Het thema van de show is oogsttijd en dankbaarheid. Het heeft een uur van schitterende acrobatiek, wereldmuziek en traditionele en moderne dans. Een fantastisch spektakel voor jong en oud.

Die Floriade Show wird von jungen Musikern, Akrobaten und Tänzern aus Entwicklungsländern in Afrika, Asien und Lateinamerika aufgeführt. Die Floriade produziert dieses einzigartige Projekt in Zusammenarbeit mit The United Cultures for Development (UCD), einem Programm, das Jugendliche, vor allem aus den Slums, in die Ausbildung zum Entertainer einrichtet.

Die Floriade ist meistert an Menschen, denn auch das ist ein Bestandteil unserer Nachhaltigkeit.

Dienstag bis Sonntag  
15:30 – 16:00 Uhr  
17:00 – 17:30 Uhr  
Floriade Theatre

## RABO EARTHWALK

The Rabo Earthwalk is a global attraction which gives you a unique view of the Earth in a spectacular film. You take a flight and see how innovative world ideas blossom.

Der Rabo Earthwalk ist eine Weltattraktion, die Ihnen mittels eines spektakulären Films die Erde aus einer einzigartigen Perspektive zeigt. Sie erleben einen besonderen Flug und sehen, wie innovative Weltideen in Blüte gelangen.

Environment 11



## THE WILLOWMAN

Do you have a large amount of guts and aren't afraid to get lost in the dark Forests of Floriade? Then go out and meet the Willowman!

For centuries a myth about an eccentric person who hides in the forests of Floriade. Far from the civilized world, his grandparents build their first home, consisting of a house made from branches, twigs and leaves. Over time the house evolved into a village full of natural sculptures, trees and nests where The Willowman and his animals live in peace with nature.

Hast du genügend Mut und hast du auch keine Angst den dunklen Floriadewald zu laufen? Dann geh auch du nach dem Willowman!

Ein Jahrhundert lang macht es die Runde, dass sich der Willowman zentriert in den Wäldern des Floriade Geländes versteckt hält. Weit entfernt von der bewohnten Welt, haben seine Urgroßeltern aus Zweigen, Ästen und Blättern sein erstes Haus gebaut. Dies wurde eine Generation später in ein Dorf mit prächtigen, natürlichen Skulpturen, Bäumen und Baumhütten ausgebaut. Hier lebt nun der Willowman mit seinen Tieren und ist nun völlig eins mit der Natur.

## Oxfam Novib

Impressive 3D film of Nature by Oxfam Novib, the charity partner of Floriade, you are invited to Myanmar which was devastated by Cyclone Nargis in 2008. Experience the destructive power of nature!

Der beeindruckende 3D-Film „Power of Nature“ von Oxfam Novib, einer der Wohltätigkeitsorganisationen, die Partner der Floriade sind, führt Sie nach Myanmar. 2008 raste der Zyklon Nargis über dieses Land. Erleben Sie selbst die zerstörerische Kraft der Natur!

## LEGIO VENLO

Make your Floriade day with a longer stay in the region, North Limburg has lots to offer! View the many possibilities and recreation options at [www.legiofloride.com](http://www.legiofloride.com)

Verlängern Sie Ihren Besuch der Floriade mit einem längeren Aufenthalt in der Region, denn Nord-Limburg ist eine enorme Region! Informationen über die vielen Unterkünfte und Freizeitmöglichkeiten finden Sie auf der Webseite [www.legiofloride.de](http://www.legiofloride.de)

## AUDIO TOUR

The audiotour is a 90 minute long, personal audio-visual tour which shows you the highlights of Floriade 2012. The multimedia player costs € 5.00 and is available in Dutch, German and English from 'Guest Relations' on Floriade Street.

Die Audio-Tour ist eine individuelle, audiovisuelle Tour, die Sie in 90 Minuten zu den Höhepunkten der Floriade 2012 führt. Die Audio-Tour ist in den Sprachen Niederländisch, Deutsch, Englisch und Französisch erhältlich. Der Player ist zum Kauf für € 5,00 beim „Guest Relations“-Schalter in der Floriade Street erhältlich.

## FLORIAD KIDS!

You can discover the five worlds of horticulture on the Kids Expedition! Follow us for lots of different tasks and assignments!

Entdecken auf der 'Expedition Floriade Kids' die fünf Welten des Gartenbaus! Folge uns für interessante Fragen und Aufgaben!

## HOSPITALITY / GASTRONOMIE

Each theme field has its own restaurant:

### Relax & Heal Restaurant ZEN

This restaurant serves a selection of soups, salads and main courses with Asian influences.

In diesem Restaurant werden Suppen, Salate und Hauptspeisen mit asiatischen Einflüssen serviert.

### Education & Innovation Restaurant The Greenhouse

A restaurant serving regional dishes and products.

Ein Restaurant, in dem Gerichte und Produkte aus der Region angeboten werden.

### Green Engine Restaurant Villa Flora

In this restaurant, we offer a selection of Fresh Fast Food.

In diesem Restaurant bieten wir ein abwechslungsreiches Sortiment an Fresh Fast Food.

### World Show Stage Restaurant Aqua Pavilion

The restaurant offers an extensive assortment of sandwiches, organic soups and international dishes.

In diesem Restaurant finden Sie eine vielfältige Auswahl an Brötchen, biologischen Suppen und Gerichten aus aller Welt.

### Environment Restaurant Beach club

This beautiful waterside restaurant serves typical beach dishes.

Dieses wunderschön am Wasser gelegene Restaurant serviert den Gästen typische Strandgerichte.

For a lovely cup of coffee, a piece of Limburg's famous flan or traditionally made ice cream, look no further than the Aspetto coffee corner on Floriade Street. There are another 20 kiosks throughout the park.

Für einen herrlichen Kaffee, ein köstliches Stück Limburgischen Kuchen oder hausgemachtes Speiseeis, besuchen Sie den Aspetto Coffee Corner in der Floriade Street. Außerdem stehen verteilt über den Park noch 20 Kioske.



Rabobank

FOUNDER



ARCADIS



DORA VERHEEZE

SPONSORS



BUCKEBO



Logo



Logo



Logo



Logo



Logo



Logo



Logo



Logo



Logo



Logo



Logo

SUPPLIERS



## SAFETY REGION / SICHERHEITSREGION

We invite you to join Burgernet and Twitter.

Send a text message with BN Floriade to 8844. You will then receive information about lost persons, for example, and help look out for them. If you have any information, call the telephone number in the text message.

You can also receive more information about safety on Twitter:

[www.twitter.com/vr\\_in](http://www.twitter.com/vr_in). This account is registered to Vrijheidsregio Limburg-Noord and is used for crisis communication. If you find yourself in a life-threatening situation, always call 112!

Wir laden Sie ein, sich für Burgernet und Twitter anzumelden.

Schicken Sie eine SMS mit BN Floriade an 8844. Sie erhalten dann beispielsweise Informationen über eine vermisste Person und können nach ihr Ausschau halten. Wenn Sie Informationen haben, rufen Sie die in der SMS genannte Telefonnummer an.

Weitere Informationen zum Thema Sicherheit können Sie über Twitter erhalten: [www.twitter.com/vr\\_in](http://www.twitter.com/vr_in). Dieser Account der Sicherheitsregion Limburg-Nord wird zur Krisenkommunikation genutzt. Bei einer Situation mit unmittelbarer Lebensgefahr immer den Notruf 112 anrufen!

## PRACTICAL INFORMATION

### PRAKTISCHE INFORMATIONEN

#### Opening hours / Öffnungzeiten

Floriade 2012 is open from 5 April to 7 October 2012. The park is open daily from 10.00 a.m. to 7.00 p.m. From 21 June to 1 September, the park is open until 8.00 p.m. On Fridays and Saturdays it is open until 11.00 p.m.

Die Floriade 2012 findet vom 5. April bis 7. Oktober 2012 statt. Der Park ist täglich von 10:00 Uhr bis 19:00 Uhr geöffnet. In der Zeit vom 21. Juni bis 1. September ist der Park bis 20:00 Uhr geöffnet, freitags und samstags bis 23:00 Uhr.

#### Disabled visitors / Menschen mit einer Behinderung

The Floriade has endeavoured to ensure that the site is accessible to everyone. The pavilions and cableway are accessible to the disabled. Wheelchairs and rollators are also available. Visit [www.floriade.com](http://www.floriade.com) for details and bookings.

Die Floriade möchte das Gelände für alle Besucher möglichst gut zugänglich und erreichbar gestalten. Daher sind die Pavillons und die Seilbahn auch für Menschen mit einer Behinderung zugänglich. Außerdem können unter anderem Rollstühle und Rollatoren zur Verfügung gestellt werden. Für genauere Informationen und Reservierungen: [www.floriade.de](http://www.floriade.de)

More information, terms and conditions, bookings and tickets: Guest Relations on Floriade Street or call +31 77 3030419 [info@floriade.nl](mailto:info@floriade.nl) | [www.floriade.com](http://www.floriade.com)

Weitere Informationen, Bedingungen, Reservierungen und Tickets: Guest Relations in der Floriade Street oder telefonisch +31 77 3030419 [info@floriade.de](mailto:info@floriade.de) | [www.floriade.de](http://www.floriade.de)

